「工事担任者試験」経歴証明書記入例

「○○○○年度第○回 工事担任者試験」経歴証明書

【重要】この経歴証明書は、申請者の実務経歴を勤務先の会社の代表者から厳格に証明していただく重要な証明書です。作成に当たっては、裏面の注意事項及び「受験の手引き」をよく読み、申請者自身が記入・作成し、会社の代表者の証明を受けた上で受付締切日までに提出してください。

受付番号(記入不要)	※

受験希望地	東　京	
受験種別	第二級デジタル通信	
免除申請科目	基　礎	技術及び理論

経歴

従事期間		従事した接続の工事の内容	
工事期間	実働期間	伝送路規模	実地に監督した工事担任者
H30年8月1日から H30年10月31日まで	3月　日間 常態的に従事した場合	○○株式会社　東京北支店発注の新宿エリアサービス総合工事にて、フレッツ光ネクスト回線の新規開通工事(90拠点)に従事し、ひかり電話用ルータのセットアップ、設定、接続、配線工事、試験を実施した。 伝送路規模[A:　][I:　][D:入力　1G　bps] (64kbit/s換算)[出力　1G　bps]	氏名　横浜　三郎 資格者証番号　AK06A0000XX 資格者証交付年月日　H18年10月1日
H30年11月1日から H31年1月31日まで	1月20日間 兼務的に従事した場合	○○ケーブルテレビ株式会社(神奈川県横浜市)のCATVインターネット回線及びCATV電話回線の新規開通工事(60地点)に従事し、ケーブルモデム、EMTAのセットアップ、設定、接続、配線工事、試験を実施した。 伝送路規模[A:　][I:　][D:入力　320　Mbps] (64kbit/s換算)[出力　10　Mbps]	氏名　横浜　二郎 資格者証番号　AN07A0000XX 資格者証交付年月日　H19年9月18日
H31年2月1日から H31年4月30日まで	3月　日間	○○株式会社　東京東支店発注の中野エリアサービス総合工事にて、フレッツ光ネクストマンションタイプ回線の新規開通工事(100拠点)に従事し、VDSLモデムのセットアップ、設定、接続、配線工事、試験を実施した。 伝送路規模[A:　][I:　][D:入力　100　Mbps] (64kbit/s換算)[出力　100　Mbps]	氏名　東京　三郎 資格者証番号　AU91A0000XX 資格者証交付年月日　H3年2月1日
R1年6月1日から R1年8月31日まで	3月　日間 複数の工事に従事した場合	○○株式会社(東京都新宿区)他19社(60拠点)のフレッツ光ネクスト回線を使ったインターネットVPN構築工事に従事し、ルータのセットアップ、設定、接続、配線工事、試験を実施した。 伝送路規模[A:　][I:　][D:入力　1G　bps] (64kbit/s換算)[出力　1G　bps]	氏名　上野　二浪 資格者証番号　AN01A0000XX 資格者証交付年月日　H19年10月1日
年月日から 年月日まで	月　日間	○○株式会社(東京都港区)他19社(60拠点)の既設フレッツ光ネクスト回線を使ったインターネット回線に配線工事を追加し、無線LANルータを設置した、無線ルータのセットアップ、設定、接続、配線工事、試験を実施した。 伝送路規模[A:　][I:　][D:入力　1G　bps] (64kbit/s換算)[出力　1G　bps]	氏名　川崎　三郎 資格者証番号　AK06A0000XX 資格者証交付年月日　H18年10月1日
従事期間の合計(頁毎)		従事期間の総合計(最終頁)	
年　10　月　20　日間		年　月　日間	

上記のとおり相違ありません。
証明書作成年月日　○○○○年　○月　○日
申請者氏名(フリガナ)　千葉　太郎(チバ　タロウ)
生年月日　昭和60年7月1日
連絡用(勤務先等)　045－123－××××
電話番号　090－1234－××××
電子メールアドレス　taro.chiba@xxx.co.jp

平日昼間に連絡とれる電話番号(携帯併記)を記入してください。

(注)申請者が…についてのお問合せ、記載内容の不備の訂正又は、必要な資料等の提出を依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。このため、経歴証明書の写しをとっておいてください。

上記のとおり相違ないことを証明します。
証明年月日　○○○○年　○月　○日
会社名　○○電気通信工事(株)
所在地　神奈川県横浜市神奈川区○○1-25-3
代表者役職名　代表取締役社長
代表者氏名　巣鴨　次郎
証明担当者役職名　人事部長
証明担当者氏名　巣鴨　三郎
電話番号　045－123－××××
電子メールアドレス　saburo.sugamo@xxx.co.jp

(記入不要)

審査者	一次審査	二次審査
	※	※

経歴証明書の提出は通常複数枚になりますので、記入前に原紙のコピーをとり、2枚目以降は、コピーした経歴証明書を使用してください。
様式が同じであれば、word、excelなどで作成したものでも構いませんが、pdfファイルに変換したものをアップロードしてください。。

受験希望地、受験種別を記入し、免除申請科目に○印をつけてください。

従事期間(工事期間、実働期間)を正確に記入してください。

「従事した接続の工事の内容」欄には、記入した工事が特定できるように工事実施場所、工事名、接続した通信回線種別を含めて記入してください。
事実と異なる内容を記載(例えば、本来は実務経歴が不足しているにもかかわらず、要件を満たすために事実と異なる内容を記載)して申請を行い、試験を受けようとする者には受験の停止の措置を、試験を受けた者には試験の無効の措置をそれぞれ行う場合があります。
「端末設備等の故障修理作業(通信障害時の切り分け、復旧工事)」、「専用回線に接続する端末設備等の工事」も実務経歴の対象となりますが、監督した工事担任者の証明が必要です。

「技術及び理論」科目の免除申請をする場合は、伝送路規模を必ず記入してください。
[A:　][I:　][D:　]の欄には、分界点において端末設備等に電気通信回線を接続した回線数、64kbit/s換算数、入出力速度(下り、上り伝送速度)を記入してください。端末設備等にアナログ、ISDN回線を混在収容した場合は[A:]、[I:]それぞれの欄に収容回線数を記入してください。

「監督した工事担任者」欄は、当該工事で実地に監督した工事担任者の氏名・資格者証番号・交付年月日の記入事項について、省略(空白又は「同上」などの記入は不可)せず、確実に記入してください。
一つの工事で監督者が変更となった場合は、記入枠を分けて記入してください。
監督した工事担任者が証明した内容は、工事記録等で電気通信国家試験センターが速やかに確認できるようにしておいてください。確認できない場合は実務経歴として記載することはできません。

「従事期間の合計」欄はページ毎の合計を記入してください。最終ページに総合計を記入してください。

経歴証明書の作成年月日及び証明年月日を記入してください。
また、申請書作成年月日は証明年月日より後になることはありません。

代表者氏名・証明担当者氏名等を確実に記入してください。
電話番号、メールアドレスも確実に記入してください。
国家試験センターから代表者(又は証明担当者)に電話又はメールで連絡し、証明された内容の確認をいたします。
勤務先が異なる場合は会社毎に作成してください。